

令和3年度の事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人さとはち

1 事業の成果

さとはちでは、「里地里山の環境保全」と「持続可能な農業生産の実現」を目標とし、昨年度と同様に耕作放棄地再生農地での環境保全型農業及び養蜂、農作物・養蜂生産物を活用した加工品の販売、自然環境教育事業に取り組んだ。

①環境保全型農業及び養蜂事業

里山の景観悪化や獣害の原因となる耕作放棄地の解消に向け、昨年度と同様に耕作放棄地再生農地を活用したエゴマの栽培及び養蜂を実施。令和3年度は新たに45aの耕作放棄地を再生し、計65aの再生農地にてエゴマの栽培や荒廃防止に向けた草刈り等の管理を行った。

また、5月から10月の間には計5回のエゴマ栽培体験イベントを開催し、地域住民を初めとした20~30名の方々に参加していただいた。この事業は、当団体の事業の中心となるため、令和4年度においても引き続き実施予定である。

②里地里山保全事業

今年度は実施なし。

③農業及び養蜂業活性化事業

地元農産物・養蜂生産物の消費拡大に向け、収穫物を加工した「恵蜜（めぐみつ）」「生えごま油」という2種類の商品を販売。恵那市・中津川市を中心に昨年度よりも販路を拡大し、地元のマルシェでの直売や地元の事業所への委託販売、昨年開設したオンラインショップでのネット販売を行った。さらには、地元の学校給食やお菓子を製造する事業所に原材料として蜂蜜やエゴマを使用していただき、地産地消にも貢献することができた。

④自然環境教育事業

「怖い」「刺されそう」という負のイメージを持たれやすいミツバチだが、農業生産や自然環境の維持において、授粉という大切な役割を担うミツバチはなくてはならない大切な存在である。そんなミツバチの生態についての理解を広めるため、7月に地元の小学校にてこども教室を開催。ミツバチの標本のスケッチや採蜜体験など体験型の内容を通して、小学生にミツバチの大切さについて発信した。

また11月には、岐阜市の生物多様性シンポジウムにて養蜂や自然環境に関心のある参加者の方にミツバチの生態や授粉の重要性についてお話しし、理解を得ることができた。

⑤情報提供事業

昨年度開設したSNSのうち、FacebookとInstagramを運用。出店情報や日々の活動の様子を発信した。今後は当団体の活動に対する更なる理解を深めるため、活動の背景やミツバチや農業が抱える課題についてもSNSを使って発信していきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)
①環境保全型農業及び養蜂事業	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地再生農地にて養蜂を実施。 ・耕作放棄地再生農地にて、ミツバチの蜜源・花粉源となるエゴマを、無農薬・務化学肥料で栽培した。 ・エゴマ栽培イベントを開催。地域住民を中心とした参加者に、環境保全型農業を体験していただいた。 	<p>(A)養蜂は4月、エゴマの栽培は5月から実施。栽培イベントは5月30日、6月26日、8月1日、10月24日に開催。</p> <p>(B)恵那市内農地 (C)15名</p>	<p>(D)農家、地域住民 (E)不特定多数</p>	580
②里地里山保全事業	実施なし	—	—	0
③農業及び養蜂業活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫物であるエゴマと蜂蜜を加工、商品化し販売した。 ・地元のマルシェでの販売 ・オンラインショップを使用したネット販売 ・学校給食センターや地元の事業所に、原材料としてエゴマや蜂蜜を使用していただいた。 ・恵那、中津川を中心とした道の駅、物産館、セレクトショップでの販売 	<p>(A)通年 (B)法人の作業所、地域及び県外の施設 (C)6名</p>	<p>(D)地域及び県外の不特定多数 (E)地域及び県外の不特定多数</p>	316
④自然環境教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の小学生に向けた、ミツバチの生態について学習するこども教室の開催 ・生物多様性シンポジウムにてミツバチの生態や授粉の重要性について発信 	<p>(A)地元の小学生に向けた講座は7月5日、シンポジウムは11月13日 (B)地元の小学校、岐阜市 (C)2人</p>	<p>(D)地元の小学生、県内及び県外の不特定多数 (E)不特定多数</p>	1

⑤ 情報提供事業	・Facebook、Instagramにて、 出店情報や日々の活動の様子を定期的に発信	(A) 通年 (B) 法人事務所 (C) 1人	(D) 地域及び 県外の不 特定多数 (E) 不特定多 数	0
⑥ その他目的を達成するために必要な事業	実施なし	—	—	—

令和3年度 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

単位：円

特定非営利活動法人さとはち

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	54,000	
賛助会員受取会費	3,000	
法人会員受取会費	30,000	87,000
2 事業収益		
売上高	1,487,943	1,487,943
3 受取助成金等		
受取補助金	1,500,000	1,500,000
4 その他収益		
受取利息	8	8
経常収益計 (A)		3,074,951
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
売上原価	896,710	
その他経費計	896,710	
事業費計		896,710
2 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費計		
旅費交通費	650	
通信運搬費	18,108	
水道光熱費	4,601	
租税公課	24,900	
消耗品費	184,826	
支払手数料	31,396	
車両借用費	10,000	
雑費	3,215	
修繕費	457,133	
減価償却費	9,646	
その他経費計	744,475	
管理費計		744,475
経常費用計 (B)		1,641,185
当期経常増減額 (A) - (B)		1,433,766
III 経常外収益		

			9,044	
				9,044
IV	經常外費用			
	固定資産圧縮損	1,482,315		
	前期損益修正損	2	1,482,317	
	經常外費用計			1,482,317
	税引前当期正味財産増減額			▲ 39,507
	法人税、住民税及び事業税			50,000
	当期正味財産増減額			▲ 89,507
	前期繰越正味財産額			1,021,329
	次期繰越正味財産額			931,822

令和3年度 貸借対照表

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人さとはち

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位：円)		
I 資産の部 1 流動資産 現金預金 未収入金 商品 貯蔵品 流動資産合計 2 固定資産 (1)有形固定資産 機械装置 工具器具備品 有形固定資産計 固定資産合計 資産合計	712,375 12,508 240,110 162,239 1,127,232 338,436 38,587 377,023 377,023 1,504,255	1,127,232 377,023 1,504,255	1,504,255
II 負債の部 1 流動負債 未払金 預り金 短期借入金 未払法人税等 流動負債合計 負債合計	472,423 10 50,000 50,000 572,433 572,433	572,433 572,433	572,433
III 正味財産の部 前期繰越正味財産 当期正味財産増減額 正味財産合計 負債及び正味財産合計	1,021,329 ▲ 89,507 931,822 1,504,255	1,021,329 ▲ 89,507 931,822 1,504,255	931,822 1,504,255

令和3年度 財産目録

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人さとはち

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金預金	712,375		
未収入金	12,508		
商品	240,110		
貯蔵品	162,239		
流動資産合計		1,127,232	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
機械装置			
ヤンマー汎用野菜移植機	264,000		
共立ハンマーナイフモア	210,000		
工具器具備品			
除菌水生成装置	26,826		
紫外線照射器	21,407		
減価償却累計費			
ヤンマー汎用野菜移植機	▲ 75,504		
共立ハンマーナイフモア	▲ 60,060		
除菌水生成装置	▲ 5,365		
紫外線照射器	▲ 4,281		
有形固定資産計	377,023		
固定資産合計		377,023	
資産合計			1,504,255
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	472,423		
預り金	10		
短期借入金	50,000		
未払法人税等	50,000		
流動負債合計		572,433	
負債合計			572,433
III 正味財産の部			931,822